

地域資源をどう活用するか ～新たな観光拠点の創出～

日時

令和元年

10月25日(金) 18:00-21:00(開場17:30)

うるま市民芸術劇場 燈ホール (うるま市字仲嶺175番地)

入場無料! どなたでもご参加ください! **定員250名** (定員に達し次第〆切)

市民・民間事業者・行政など、あらゆる主体が主役となり、「勝連城跡」を歴史・文化、観光振興の新たな拠点として創出するため、「地域資源をどう活用するか」をテーマにシンポジウムを開催します。

基調講演①

「人を集め価値を高めるパークマネジメント」

18:05～18:50

大和エネルギー・インフラ株式会社 投資事業第三部 副部長 鈴木 文彦 氏

事業説明

「勝連城跡周辺整備事業」について

18:50～19:00

うるま市勝連城跡周辺整備室

基調講演②

「目指せ!あまわり浪漫の実現を!～地域文化の発信による新たな観光の展開～」

19:00～19:45

「肝高の阿麻和利」初代演出家、南島詩人 平田 大一 氏

パネル ディスカッション

「魅力的かつ持続可能な観光拠点エリアを目指して」

19:55～20:50

【パネリスト】

平田 大一 (「肝高の阿麻和利」初代演出家、南島詩人)

石川 裕憲 (うるま市観光物産協会 理事長)

新垣 壮大 (うるま市商工会 会長)

松本 謙 (うるマルシェ指定管理者共同代表/株式会社ファーマーズ・フォレスト代表取締役社長)

上間 秀二 (うるま市副市長)

【コーディネーター】

鈴木 文彦 (大和エネルギー・インフラ株式会社投資事業第三部 副部長)

主

催

うるま市都市建設部

お問い合わせ

うるま市勝連城跡周辺整備室 TEL:098-923-7606



講 師 紹 介

平田 大一 (「肝高の阿麻和利」初代演出家、南島詩人)



1968年、沖縄県八重山郡竹富町小浜島生まれ。大学在学中から、南島詩人として、また演出家として独自の舞台活動を展開。大学卒業後「小浜島キビ刈り援農塾」を主宰、文化を基調とした地域活性化を一生の仕事と決める。2001年「きむたかホール館長」、2005年「那覇市芸術監督」を歴任、2011年「沖縄県文化観光スポーツ部長」に抜擢、公職経験を経た2013年から4年に渡り「(公財)沖縄県文化振興会」理事長に就任、2017年6月からはフリーランスの「沖縄文化芸術振興アドバイザー」として世界と沖縄をつなぐ活動を展開中。現在も「内閣府沖縄振興審議会(3期目)」に在籍する一方で「くるちの杜100年プロジェクト」や「現代版組踊シリーズ」など、文化に軸足を置いた新たな地域活性化のモデルづくりのトップランナーとして更なる挑戦を続ける。50歳。

鈴木 文彦 (大和エネルギー・インフラ株式会社 投資事業第三部 副部長)



七十七銀行、財務省出向(東北財務局上席専門調査員)を経て2008年から大和総研。2018年10月から大和証券グループのエネルギー・社会インフラ分野への投資業務を担う戦略子会社、大和エネルギー・インフラに出向中。専門は地域経済、地域金融、PPP/PFIなど。日経グローバル「自治体財政改善のヒント」(連載中)はじめ執筆多数。西東京市行財政改革推進委員会委員(2012年8月～)、東京都オリンピック・パラリンピック事務局「新規恒久施設等の後利用に関するアドバイザー会議」委員(2014年12月～2017年3月)など。中小企業診断士、FP1級技能士。

【 参 加 申 込 】

シンポジウム「地域資源をどう活用するか～新たな観光拠点の創出～」

以下の申込欄に記入し、うるま市勝連城跡周辺整備室までFAX又はEメールでお申し込みください。

※10/18(金)×切

FAX :098-923-7642 E-MAIL :katsurenjo-seibi@city.uruma.lg.jp

所 属 (個人の場合は不要)			
電 話 番 号			
参 加 者 氏 名 (住 所)※市町村のみ	()	()	()